

三重県の食について

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
フードイノベーション課	2013年01月18日から 2013年02月06日まで	1332	882	66%

三重県フードイノベーション課です。

三重県産品に対する満足度などをお聴きし、地産地消、食育、食の安全・安心事業に役立てるため、アンケートを実施します。

■ Q1 生鮮物について

あなたは、三重県産の食品のうち生鮮物（青果物、魚介類、米、肉等）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
満足している	340	38.5%
どちらかという満足している	401	45.5%
どちらでもない（気にしていない）	114	12.9%
どちらかといえば満足していない	18	2.0%
満足していない	9	1.0%

■ Q2 Q1でそう感じた理由

Q1で、そう感じた理由を3つまで選んでください。

合計	882	
味、鮮度、栄養などの品質	612	69.4%
量（世帯構成にあっているか）	44	5.0%
パッケージデザインや商品の説明のわかりやすさ	43	4.9%
地元のものへの安心感	681	77.2%
料理への使いやすさ	31	3.5%
価格、またはお値打ち感	246	27.9%
入手しやすさ、種類など品揃え	340	38.5%
環境への配慮	36	4.1%
その他	37	4.2%

■ Q3 加工食品について

あなたは、三重県産の加工食品（三重県産の食材を利用した加工食品）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
満足している	180	20.4%
どちらかという満足している	409	46.4%
どちらでもない（気にしていない）	262	29.7%
どちらかといえば満足していない	23	2.6%
満足していない	8	0.9%

■ Q4 Q3でそう感じた理由

Q3でそう感じた理由を3つまで選んでください。

合計	882	
味、鮮度、栄養などの品質	418	47.4%
量（世帯構成にあっているか）	41	4.6%
パッケージデザインや商品の説明のわかりやすさ	67	7.6%
地元のものへの安心感	573	65.0%
食べやすさ、料理への使いやすさ	120	13.6%
価格、またはお値打ち感	221	25.1%
入手しやすさ、種類など品揃え	308	34.9%
環境への配慮	27	3.1%
その他	71	8.0%

■ Q5 食生活の指針について

日々の食習慣に関してお聴きします。

ふだん健全な食生活を実践するために、食生活上の何らかの指針等を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
参考にしている	364	41.3%
参考にしていない	359	40.7%
わからない	159	18.0%

■ Q6 参考にしている指針について

Q5で「参考にしている」と答えたの方にお聴きします。

どのような指針等を参考にしていますか。3つまで選んでください。

合計	364	
----	-----	--

食事バランスガイド	219	60.2%
食生活指針	68	18.7%
日本人の食事摂取基準	62	17.8%
6つの基礎食品	142	39.8%
3色分類	111	30.5%
その他の指針	54	14.8%

■ Q7 メタボリックシンドロームについて

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善のために、「適切な食事」「定期的な運動」「週に複数回の体重測定」のいずれかを実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
実践して、半年以上継続している	289	32.8%
実践しているが、半年未満である	37	4.2%
時々気をつけているが、継続的ではない	390	44.2%
現在していないが、近いうちにしようと思っている	84	9.5%
現在していないし、しようとも思わない	82	9.3%

■ Q8 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聴きします。
家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

※家族数は問いません。

※朝食および夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

合計	836	
ほとんど毎日	573	68.5%
週に8~10回程度	78	9.3%
週に5~7回程度	73	8.7%
週に2~4回程度	73	8.7%
月に数回以下	39	4.7%

■ Q9 家族以外との食事について

全員にお聴きします。

家族以外の方（友人・知人・会合など）と一緒に食事をすることはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
ほとんど毎日	33	3.7%
週4~5日	48	5.4%

週2~3日	63	7.1%
週1日	181	20.5%
ほとんどない	557	63.2%

■ Q10 食品の安全性について

あなたは、食品の安全性について、普段どう感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
不安は感じていない	97	11.0%
どちらかといえば不安は感じていない	317	35.9%
どちらかといえば不安を感じている	361	40.9%
不安を感じている	92	10.4%
わからない	15	1.7%

■ Q11 Q10でそう感じる理由

Q10で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と答えたの方にお聴きします。それはどのような不安ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	453	
農薬や動物用医薬品（抗生物質など）の残留	259	57.2%
食品添加物の使用	258	57.0%
放射性物質の含有	149	32.9%
輸入食品の安全性	331	73.1%
表示の偽装（消費期限、原産地など）	137	30.2%
遺伝子組み換え作物の使用	66	14.6%
食中毒	36	7.9%
アレルギー物質の含有	11	2.4%
その他	12	2.6%

■ Q12 食の安全に関する意識について

あなたは、どのような時に食の安全について意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	882	
買い物や食事の時など日常的に意識している	376	42.6%
日常的には意識していないが時々意識する	255	28.9%
食の安全に関する問題が起こったときには意識する	213	24.1%
意識することはほとんどない	35	4.0%

わからない	3	0.3%
-------	---	------

■ Q13 食の安全・安心のために行政に期待する取り組みについて

現在、行政では、食品の安心を得るためにさまざまな取り組みを行っていますが、次の中で、あなたが期待する取り組みはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	882	
食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する	543	61.6%
残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する	579	65.6%
食品表示の適正化を推進する	434	49.2%
生産者、事業者が食の安全・安心の確保に自主的に取り組めるしくみ（みえの安心食材表示制度など）を推進する	238	27.0%
トレーサビリティ制度（生産流通の履歴を追跡できるしくみ）を推進する	209	23.7%
食の安全・安心に関する情報収集と適正な情報をわかりやすく提供する	221	25.1%
講座、研修会など食の安全・安心に関する教育を推進する	25	2.8%
消費者、事業者などによる相互理解のための交流を推進する	35	4.0%
消費者や事業者の疑問等に対応できる相談体制を充実する	40	4.5%
その他	15	1.7%
特になし	9	1.0%
わからない	7	0.8%

■ Q14 食の安全・安心確保のための行政の取り組みについて

行政が、食の安全・安心確保のために取り組んでいる具体的な内容について、どの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。
※具体的な取り組み内容は、Q13の選択肢を参考にしてください。

合計	882	
取り組みの内容を知っている	26	2.9%
取り組んでいることは知っている	281	31.9%
あまり知らない	466	52.8%
知らない	109	12.4%

■ Q15 食の安全・安心に関する情報提供について

食の安全・安心に関する行政からの情報提供の取り組みとして、あなたが今後、進めてほしいものはどのようなことですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	882	
パンフレット、広報誌など広報資料の充実	524	59.4%
テレビ、ラジオ、新聞など報道を通じた提供	496	56.2%
説明会、学習講座、意見交換会などの開催	112	12.7%
ホームページの充実	293	33.2%
相談窓口の充実	155	17.6%
ツイッター、フェイスブックなどのソーシャルメディアによる情報提供	107	12.1%
その他	24	2.7%
特になし	55	6.2%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture